

③【医療法人立川メディカルセンター立川総合病院】

住 所	〒940-8621 新潟県長岡市旭岡1丁目24番地		病床数：481床
診療科目	内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、緩和ケア内科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科		
研修責任者名	遠藤 彦聖 (臨床研修管理委員長)	連絡先：saiyou@tatikawa.or.jp	連絡先担当者名：亀山 智弘 (人事部)
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：7人、24年度：4人、25年度：6人、26年度：6人、27年度：2人、28年度：1人、29年度：0人、30年度：2人、令和元年度：0人、2年度：0人、3年度：0人、4年度：0人 ・その他プログラム採用 平成23年度：4人、24年度：5人、25年度：5人、26年度：11人、27年度：9人、28年度：6人、29年度：5人、30年度：10人、令和元年度：10人、2年度：10人、3年度：5人、4年度：7人		
研修受け入れ可能診療科※	学会認定専門医数	学会認定指導医数	
必修：内科（呼吸器内科・腎臓内科・神経内科）、救急（循環器内科・麻酔科）、外科（一般外科・整形外科・心臓血管外科・脳神経外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）、小児科、産婦人科 選択研修：自由選択（上記全ての診療科、放射線科、眼科、病理診断科）	内科（内科）21人、内科（循環器）8人、内科（神経）3人、内科（肝臓）3人、内科（総合）9人、内科（アレルギー）1人、透析1人、腎臓3人、外科（外科）14人、外科（消化器）4人、外科（大腸肛門）1人、外科（心臓血管）5人、脳神経外科3人、脳神経外科（血管内）2人、脳神経外科（脳卒中）1人、整形外科4人、整形外科（手外科）1人、泌尿器科3人、性機能1人、小児科4人、小児科（小児循環器）1人、産婦人科4人、放射線2人、麻酔科4人、耳鼻咽喉科1人	内科（がん治）2人、内科（心カテ）2人、内科（神内呼吸器）1人、内科（腎臓）1人、内科（透析）1人、内科（消化器）1人、内科（循環器）7人、外科（外科）4人、外科（大腸肛門）1人、外科（消化器）3人、脳神経外科（血管内）1人、外科（心臓血管）3人、外科（呼吸器）1人、泌尿器科2人、整形外科（手外科）1人、産婦人科1人、麻酔科1人、小児科1人	
施設の概説・特徴			
平成28年11月より新築移転。長岡市救急受け入れ3病院の中の一隅をなし、循環器系は医療圏を越えた救急搬送があり、救急搬送件数は年間約4,000件と多く、屋上ヘリポートへのドクヘリ搬送も増えている。循環器・脳血管センターがあり、循環器疾患患者さんの占める割合が高い。80列&320列マルチスライスCTや1.5テスラ&3テスラMRI等の最新医療機器の導入に努力している。移転を機に導入したハイブリッド手術室を有し、県内初のTAVI認定施設となっている。スタッフ医師の半数は新潟大学以外の出身で占められ県外の情報も受け入れ易い。医局はオープンフロアオフィス型で研修医もこのなかにデスクがあり、年代や科を越えてコミュニケーションが取りやすい環境である。コ・メディカルが協力的である。			
研修受け入れ可能診療科の説明			
循環器内科は、指導医も充実しており、循環器疾患をはじめ原因不明疾患など、多くの臓器別に分類できない内科救急を緊急診療として位置付けている。腎臓内科ではCKDの診断・治療を総合的に行っている。呼吸器内科は、気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患・肺炎・肺がんの症例が多い。 心臓血管外科は、開心術（オフポンプ等）及び大動脈ステンドグラフト術が350例と多く、全身麻酔手術数は500例行い、医療圏を越えた緊急手術も多い。 脳神経外科は、血管内手術を積極的に行い、外科手術でも多くの疾患に対応している。 整形外科は、緊急での外傷や骨折の緊急手術も多い。産婦人科の年間分娩数は約800件、不妊治療にも力を入れている。 放射線科は医療機器も充実しており最新の画像読影が経験できる。			
研修の概説と特徴			
West L. A. Medical Centerでの短期研修経験を選択できます。（現在、コロナ禍のため中止中） 担当医として研修の時も患者さんの他科受診のときは一緒に受診し、所属中の科以外での指導を積極的に受け入れるようにすること。また臨床談話会、救急診療検討会、研修医ジャーナルクラブには75%以上の出席が求められる。 精神科：関連病院の柏崎厚生病院での研修になるが、協力型としては対応していない。 地域医療：長岡市救急車乗務1週間と関連病院のリハビリテーション、老人地域保健などを体験するが、協力型としては対応していない。			
研修医の当直			
1年次前期は救急指定日に指導医および2年次研修医に付いて救急診療を学び、後期より指導医・2年次研修医と共に救急診療にあたる。2年次は月2～3回、指導医と共に救急診療にあたる。			
処 遇			
●給与：1年次（月額基本給）425,000円（諸手当込み）、当直手当 有 2年次（月額基本給）445,000円（諸手当込み）、当直手当 有 ●食事：昼夜共に院内レストランおよびコンビニ（seven eleven）、または外食で対応。 ●宿舎：市街病院借りあげマンションまたは病院近くのアパート。どの場合も57,000円/月額の補助が出る。 ●居室：医局オープンフロア（研修医エリア）に専用机および研修医休憩室あり。 ●図書・文献：専任司書管理の図書室完備。Up to date、医中誌Web、メディカルオンライン契約。 ●インターネット環境：各自PCにインターネット接続可。			
※「必修」で掲載されている診療科は、「選択研修」でも研修可能です。			